

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
221432071	栄養評価管理実習 Practice of Nutritional Assessment and Management	平井あかり	✓	専門	1	選択	3後期

科目の概要

DP1・2・3・4に記載があるように、修得した建学の精神、社会人基礎力、pisa 型学力、直観力、自然体および人々の日常生活を健康の面から支援するために不可欠な専門知識・技能を活用し、社会的に自立して生きていくうえで必要なスキル・リテラシー・教養等に関する一般的知識・技能を身に付け、「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神を実践することができる管理栄養士の育成を目指す。

この科目では、各疾患別の栄養管理を症例により具体的に学ぶ。また、グループディスカッションと発表を模擬体験することで、カンファレンスの際に必要な判断力を養う。担当教員は管理栄養士として病院に務め、栄養指導や栄養・給食管理業務の経験がある。病院勤務の経験を生かし、臨床に即した実習を行う。

学修内容	到達目標
① 対象症例より、各疾患の栄養状態や病態を理解し栄養管理計画および献立を作成する。 ② 栄養管理計画・症例検討の発表を通じ、プレゼンテーションを実施する。 ③ 立案した栄養管理計画書は、実施・モニタリング・再評価を行う。	① 対象症例より、各疾患の栄養状態や病態を理解し栄養管理計画および献立を立案することができる。 ② 栄養管理計画・症例検討の発表を通じ、プレゼンテーションができる。 ③ 立案した栄養管理計画書は、実施・モニタリング・再評価を行い、疾患に対する知識や対象者の栄養管理の必要性について、さらに理解することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	知識の獲得、思考力、判断力等を身に付けることに向けて粘り強く取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	授業内容の理解のためにテキスト以外の情報源を利用して自己学修をすることができる。また、予習時の疑問点を放置せず、講義や復習において自ら解決に向けて行動できる。
考え抜く力	課題発見力	対象疾患の症例についてグループワークを行い、他者や自分の意見を尊重しながら提案したり、食事療法や経腸栄養剤、栄養指導の方法など、自分で常に考えながら学修することができる。
	計画力	
	創造力	個人学修やグループワークより、常に対象者や症例について創造しながら対象者に沿った栄養ケア計画を作成し、あらゆる視点から物事を見ることができる。
チームで働く力	発信力	対象者に沿った栄養ケア計画を作成し、その根拠等を説明する。さらにグループワークやプレゼンテーションより、積極的な意見交換を行う。
	傾聴力	グループワークで互いの意見を聴きあうことができる。対象者の問題点を総合的に見極められる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守る。提出物は期限内に提出する。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：NEXT 栄養科学シリーズ 臨床栄養管理学実習 塚原丘美編 講談社サイエンティフィック
 参考テキスト：NEXT 栄養科学シリーズ 新・臨床栄養学 竹谷豊編 講談社
 演習で学べる在宅栄養支援 一地域共生社会における管理栄養士の役割 建帛社
 参考資料：レポートの書き方ガイド https://www.kansai-u.ac.jp/ctl/labo/useful/pdf/report/20170426_kiso.pdf 関西大学（基礎編）
https://www.kansai-u.ac.jp/ctl/labo/useful/pdf/report/20170426_hatten.pdf 関西大学（発展編）

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「臨床栄養評価実習」は専門分野の臨床栄養学分野の科目の一部であり、臨床栄養学ⅠⅡで獲得した知識・技術を活用する。また、同時期に実施する「在宅栄養管理論」と関連する。「臨床栄養評価管理実習」は、「臨地実習」の基盤となる科目である。

資格との関連：管理栄養士

学修上の助言	受講生とのルール
予習を行い、今まで学んだ知識を整理して授業に臨みましょう。また、授業終了後は、知識定着のため復習をしましょう。	予習と復習を必ず行い、提出物は期限内に提出すること。欠席をしないこと。やむを得ず欠席した場合は、配布資料を用いて自己学修し、次回授業時に提出すること。資料の配布は、Google classroomを使うことがある。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	50	①	✓	到達目標①②③の基礎的知識が身に付いているか、内容が理解できているかを評価基準とする。 知識の獲得：40% 知識の活用：30% 課題の解決：30%	
				②	✓		
				③	✓		
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
		レポート		25	①	✓	課題レポートの内容で評価する。 ・評価基準は、課題ごとに授業内で示す。 知識の獲得：30% 知識の活用：40% 課題の解決：30%
					②	✓	
③					✓		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			15	①	✓	プレゼンテーションを評価する。 ・評価基準は、課題ごとに授業内で示す。 知識の活用：50% 課題の解決：50%	
				②	✓		
	③						
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓	【主体性】知識の獲得、思考力、判断力等を身に付けることに向けて粘り強く取り組むことができる。 【実行力】講義内容の理解のためにテキスト以外の情報源を利用して自己学修をすることができる。また、予習時の疑問点を放置せず、講義や復習において自ら解決に向けて行動できる。 【課題発見力】対象疾患の症例についてグループワークを行い、他者や自分の意見を尊重しながら提案したり、食事療法や経腸栄養剤、栄養指導の方法など、自分で常に考えながら学修することができる。 【創造力】個人学修やグループワークより、常に対象者や症例について創造しながら対象者に合った栄養ケア計画を作成し、あらゆる視点から物事を見ることができる。 【発信力】対象者に合った栄養ケア計画を作成し、その根拠等を説明する。さらにグループワークやプレゼンテーションより、積極的な意見交換を行う。 【傾聴力】グループワークで互いの意見を聴きあうことができる。対象者の問題点を総合的に見極められる。 【規律性】欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守る。提出物は期限内に提出する。	
				②	✓		
				③	✓		
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S(秀)の基準：学修成果および学修行動評価の得点率が90%以上 A(優)の基準：学修成果および学修行動評価の得点率が80～90%	B(良)の基準：学修成果および学修行動評価の得点率が70～80% C(可)の基準：学修成果および学修行動評価の得点率が60～70%

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 臨床栄養管理に必要な 技能を学ぶ 糖尿病の栄養管理を学 ぶ	講義 グループワーク google classroomによ る課題の提出および フィードバック、質問 の受付	栄養ケア・マネジメン トの概要を理解してい る。 糖尿病症例の栄養管理 を理解している。	(予習)「栄養ケア・ マネジメント」、「糖 尿病」p.74～76につ いて予習する。 (復習)授業内容をま とめる。	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	肥満症の栄養管理を学 ぶ① 栄養管理計画の作成 (個人)	講義 演習 google classroomによ る課題の提出および フィードバック、質問 の受付	肥満症の栄養管理の方 法を提案でき、栄養管 理計画を作成できる。	(予習)「肥満症」 p.79～84について予 習する。 (復習)授業内容をま とめ、グループワー ク、発表の準備を行 う。	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	肥満症の栄養管理を学 ぶ② 献立の作成(個人)	講義 演習 google classroomによ る課題の提出および フィードバック、質問 の受付	肥満症の栄養管理計画 を基に、献立が作成で きる。	(予習)「肥満症」 p.79～84について予 習する。 (復習)授業内容をま とめ、グループワー ク、発表の準備を行 う。	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	肥満症の栄養管理を学 ぶ③ 栄養管理計画・献立の 作成(グループワー ク)、発表	グループワーク 発表 google classroomによ る課題の提出および フィードバック、質問 の受付	肥満症の栄養管理を理 解している。	(予習)「肥満症」 p.79～84について予 習する。 (復習)授業内容をま とめる。	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	炎症性腸疾患の栄養管 理を学ぶ① 栄養管理計画の作成 (個人)	講義 演習 google classroomによ る課題の提出および フィードバック、質問 の受付	炎症性腸疾患の栄養管 理の方法を提案でき、 栄養管理計画を作成で きる。	(予習)「炎症性腸疾 患」p.100～108につ いて予習する。 (復習)授業内容を ノートにまとめる。	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	炎症性腸疾患の栄養管 理を学ぶ② 献立の作成(個人)	講義 演習 google classroomによ る課題の提出および フィードバック、質問 の受付	炎症性腸疾患の栄養管 理計画を基に、献立が 作成できる。	(予習)「炎症性腸疾 患」p.100～108につ いて予習する。 (復習)授業内容をま とめ、グループワー ク、発表の準備を行 う。	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	炎症性腸疾患の栄養管 理を学ぶ③ 栄養管理計画・献立の 作成(グループワー ク)、発表	グループワーク 発表 google classroomによ る課題の提出および フィードバック、質問 の受付	炎症性腸疾患の栄養管 理を理解している。	(予習)「炎症性腸疾 患」p.100～108につ いて予習する。 (復習)授業内容をま とめる。	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	介護食、食事介助を学 ぶ 食事介助・姿勢・食事 動作・摂食状況レベル 等支援技術を学修する	講義 演習 google classroomによ る課題の提出および フィードバック、質問 の受付	嚥下調整食の分類、食 事介助時の方法、姿勢 を理解することができる。	(予習)嚥下調整食の 分類、高齢者への食事 介助方法について予習 する。 (復習)授業内容をま とめる。	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	とろみ剤の濃度測定 LST測定方法について 学修する	講義 演習 google classroomによる課題の提出およびフィードバック、質問の受付	3段階のとろみを作成することができる。	(予習) とろみ剤によるとろみの付け方について予習する。 (復習) 授業内容をまとめる。	90	主体性 実行力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	調理実習 (肥満症、炎症性腸疾患)	実習 発表 google classroomによる課題の提出およびフィードバック、質問の受付	肥満症、炎症性腸疾患の献立に基づき、調理をすることができる。	(予習) 「肥満症、炎症性腸疾患、腎疾患」の献立を確認し、注意点を把握する。 (復習) 授業内容をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	嚥下障害者の栄養管理を学ぶ① 栄養管理計画・献立の作成(個人)	講義 演習 google classroomによる課題の提出およびフィードバック、質問の受付	嚥下障害者の栄養管理の方法を提案でき、栄養管理計画を作成できる。	(予習) 「嚥下障害」について予習する。 (復習) 授業内容をまとめる、発表の準備を行う。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	嚥下障害者の栄養管理を学ぶ② 栄養管理計画・献立の作成(グループワーク)、発表	グループワーク 発表 google classroomによる課題の提出およびフィードバック、質問の受付	嚥下障害者の栄養管理を理解している。	(予習) 「嚥下障害」について予習する。 (復習) 授業内容をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	障害者(脊髄損傷)の栄養管理を学ぶ① 栄養管理計画・献立の作成(個人)	講義 演習 google classroomによる課題の提出およびフィードバック、質問の受付	障害者(脊髄損傷)の栄養管理の方法を提案でき、栄養管理計画を作成できる。	(予習) 障害者(脊髄損傷)について予習する。 (復習) 授業内容をまとめ、発表の準備を行う。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	障害者(脊髄損傷)の栄養管理を学ぶ② 栄養管理計画・献立の作成(グループワーク)、発表	グループワーク 発表 google classroomによる課題の提出およびフィードバック、質問の受付	障害者(脊髄損傷)の栄養管理を理解している。	(予習) 障害者(脊髄損傷)について予習する。 (復習) 授業内容をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	調理実習 (嚥下障害、障害者(脊髄損傷))	実習 発表 google classroomによる課題の提出およびフィードバック、質問の受付	嚥下障害、障害者(脊髄損傷)の献立に基づき、調理をすることができる。	(予習) 「嚥下障害、障害者(脊髄損傷)」の献立を確認し、注意点を把握する。 (復習) 授業内容をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力